

6/23・30、7/1 ミニバスケットボールクラブ

少年団結成以来、初の全道大会「夢はかなう」

函館市で開かれた「函館地区ミニバスケットボール春季大会」(函館地区バスケットボール協会主催)で、せたな町ミニバスケットボールクラブが準優勝し、結成以来初の全道大会への出場を決めました。

昨年8月に函館市内で開かれた5年生以下の部の大会で優勝、今年5月に開かれた道南ニッセンレンカップで初優勝、そして今大会の全道大会初出場へとつなげました。選手の皆さんは、昨年の5年生以下の部で優勝した頃から「全道大会に行けるかもしれない」と思い続け、夢が現実になったと話してくれました。

準決勝までの3試合は、30点以上の大差で勝ち進みましたが、決勝で対戦した函館の駒場チームとの試合は、終始リードされ18対45で負けてしまいましたが、全道大会は2チーム出場できることから、今回の初出場となりました。



1年生～6年生までのメンバー全員で、こんなに嬉しそうな笑顔を見せてくれました

7月28・29日、苫小牧市・白老町で開かれる「ミニバスケットボール北海道ブロック大会」(北海道ミニバスケットボール連盟主催)へ出場の意気込みを選手に聞いてみると「シュート力をもっとつけたい」「パスミスをしなない」「守りをもっと強くする」とそれぞれ目標を持ち、また山本右富代表指導者は「大森、南谷指導者の選手に対する熱意ある指導と高さを活かしたチーム構成が勝因」「全道レベルを経験して今後のバスケに何か一つでもプラスにしてほしい」と話してくれました。

チームを引っ張っている6年生は、小学校入学時からミニバスケットを始めたそうで、中学校へ行っても楽しみな成績が期待できる予感を感じさせてくれました。

6/22 せたな町建設協会、せたな観光協会、観光シーズンに向けて

太櫓鳴き砂海岸と海水浴場の清掃、地域貢献に感謝

せたな町建設協会(城ヶ端政次会長)とせたな観光協会(大野忠勝会長)が、太櫓鳴き砂海岸と海水浴場の清掃を行っていただきました。

この日は約100人の参加により、3班に分かれごみを拾いました。残念ながら小雨混じりの天候で鳴き砂の声を聞くことはできませんでしたが、1時間かけてきれいな砂浜にさせていただき、これから迎える海水浴シーズンに大変貢献していただきました。



皆さんお忙しい中参加していただきました



開始から5分でゴミ袋が重くなり…

6/27・28 北海道最古の歴史を誇る山岳霊場太田山

『せたなの夏』が始まります、太田神社例大祭

太田神社例大祭が行われました。

北海道最古の歴史を誇る山岳霊場太田山は総距離約700m、標高485mで最高勾配は48度もある山道です。今年も大成まちづくり会議のメンバーが白装束に身を固め、海の安全を祈って御山掛けが行われたほか、特設ステージでは郷土芸能や歌謡ショーで盛り上がり、結びには400発の花火が打ち上げられ、太田の海を優しく照らしました。



大成中学校生徒による郷土芸能「久遠神楽」



本殿へ向かう大成まちづくり会議の皆さん

6/23・24 檜山管内少年野球大会で3位

瀬棚フィリーズ、ファイターズジュニア王座決定戦出場

江差町で檜山管内少年野球大会が開かれ、瀬棚フィリーズがファイターズジュニア王座決定戦への出場を決めました。

せたな町からは、北檜山ラウドネス・大成ベアーズ・瀬棚フィリーズが出場。この大会は、ホクレン旗争奪北海道少年軟式野球選手権大会、スタルヒン杯争奪全道スポーツ少年団軟式野球交流大会、ファイターズジュニア王座決定戦の出場権がかかっている選手にとって大事な大会でしたが、瀬棚フィリーズが3位となり、8月8日に札幌市で開かれるファイターズジュニア王座決定戦への出場を決めました。

札幌ドームでも、上位をねらって、元気よく思う存分戦ってください。



瀬棚フィリーズの選手の皆さん、札幌ドームでも上位を目指し戦ってください

7/4 大成保育園、7/5 瀬棚保育所

『また来るからね』、園児が大成長生園・三杉荘を訪問

大成保育園の園児8名が大成長生園を訪問し、七夕飾りを行いました。七夕に願いを込めて笹の葉に飾りつけをした後、おじいちゃん、おばあちゃん一人ひとりと握手をし「またくるからね～」と約束の言葉を交わし楽しい時間を過ごしました。

瀬棚保育所の年長組13名が三杉荘を訪問し、お遊戯や手遊びを披露しました。園児は『げんこつ山のためきさん』や『お寺のおしょうさん』を、おじいちゃん、おばあちゃんと手を繋いだりじゃんけんをしたりして一緒に楽しい時間を過ごし、「いつまでもげんきでね」と書かれた手作りプレゼントを渡しました。



大成長生園を訪問した大成保育園の園児



三杉荘を訪問した瀬棚保育所の園児

